

Takara standard

リフォーム用既設排水管対応キット 設置説明書

設置される方へのお願い

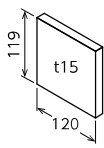
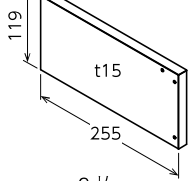
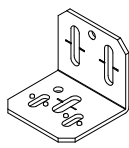

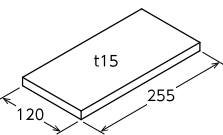
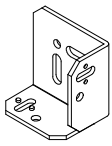


キッチン設置者の安全と使用者の安全確保のため、この設置説明書をよくお読みになり、安全に正しく設置してください。

また設置後は、この説明書を必ずお客さまにお渡しください。お渡しできないときは、わかりやすい位置に紛失しないように納めておいてください。






設置前のご確認

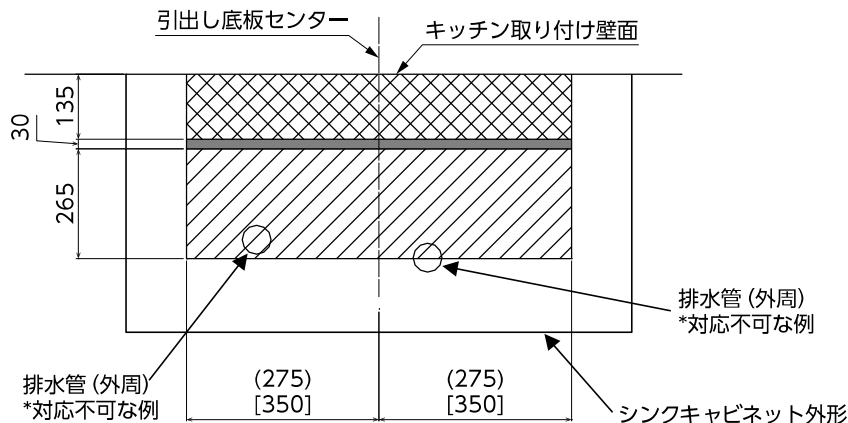
設置される前に、下記部品が揃っていることを確認してください。

< 部品一覧 >

| | | | |
|--|---|---|---|
| キット前板  1枚 | キット側板  2枚 | L金具  3個 | トラスタッピンネジ 3.5 × 14  13本 |
| キット上板  1枚 | コーナー金具  2個 | スレンダービス 3.3 × 35  13本 | 設置説明書  1枚 |

対応可能な既設排水管の立上げ範囲

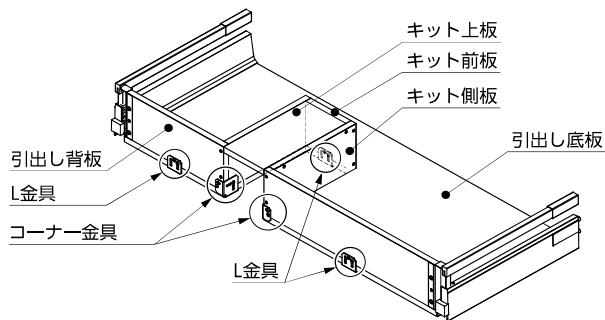
- 排水管(外周)が下図の範囲( または )に立ち上がっていることを確認してください。
範囲内に立ち上がっていない場合、キャビネットが設置できません。
- 排水管(外周)が  の範囲内に立ち上がっている場合は、引出しの背板/底板の切り欠き加工が必要です。
排水管(外周)が  の範囲内に立ち上がっている場合は、引出しの背板/底板の切り欠き加工なし(本商品を利用しない)で設置が可能です。
- 排水管(外周)が  の範囲内に立ち上がっている場合は、設置ができません。



※ ()内寸法は、キャビネットが間口900mmの場合を表しています
[]内寸法は、キャビネットが間口1050mmの場合を表しています

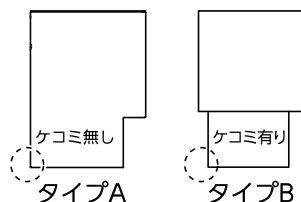
設置イメージ

完成状態をイメージした上で、作業に着手してください。



設置手順

本キットを使用するキャビネットにはタイプAとBがあります。本設置説明書では、図1(タイプA)の場合を例に説明します。現場の排水管立上げ位置に合わせて設置してください。



引出し底板、背板の切り欠き、加工

1 引出しから「引出し底板」と「引出し背板」を取り外して、図2の通り、電動丸ノコやジグソーなどで切り欠きます。外したネジは再利用しますので、保管しておいてください。

参考

- ①図1の排水管立上げ位置(壁面から280mm)の場合、以下の寸法を加減して130mm(底板切り欠き寸法)となります。
 - ・壁面から引き出し背板までの距離: -179mm
 - ・VP40管半径: +24mm
 - ・VUエルゴ肉厚: +3mm
 - ・クリアランス: +2mm
 計算式: $130 = 280 - 179 + 24 + 3 + 2$
- ②タイプBの場合は、「壁面から引出し背板までの距離」を-189mmで計算します。

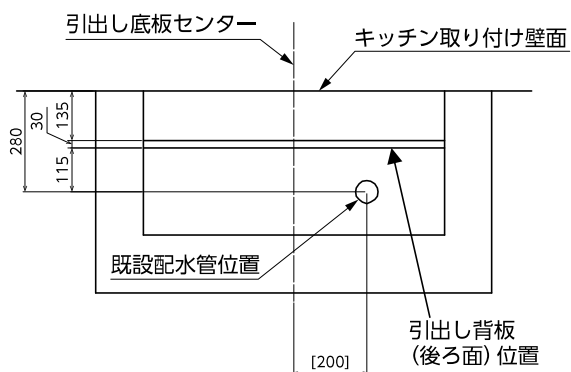


図1 排水管立上げ位置(例)

2 図3に従い、「引出し背板」にネジ固定用の下穴を加工します。

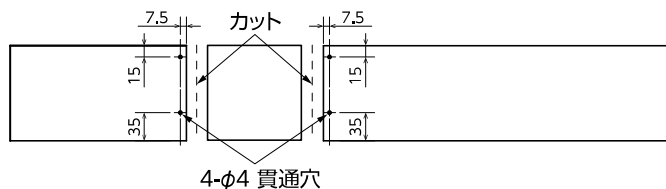


図3

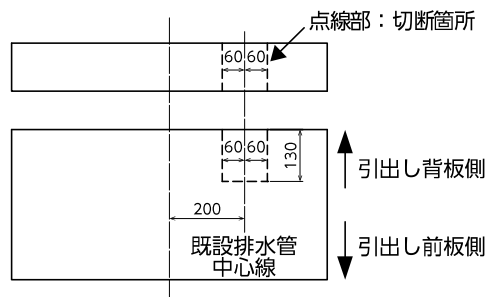


図2 引出し底板、背板の切り欠き

ホーロー面材付き底板 切断面の防錆処理

当社指定の防錆材で切断面を防錆処理します。

※ホーロー面材付き底板でない場合は、本作業は必要ありません。

キット前板、側板、上板の加工、組立て

1 キット前板／側板／上板を、電動丸ノコなどで切断します。

- キット前板：「引出し背板」と同じ高さ寸法に切断します。(図4)
- キット側板
高さ：「引出し背板」と同じ高さ寸法に切断します。
幅：「引出し底板の切り欠き奥行寸法」(130mm)に切断します。(図5)
- キット上板：「引出し底板の切り欠き奥行寸法」(130mm)に切断します。

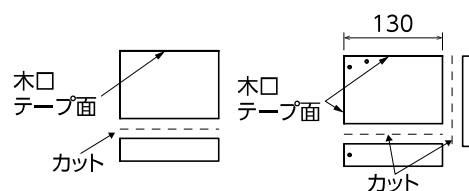


図4 前板の切断 図5 側板の切断

2 図6に従い、「キット側板」にネジ固定用の下穴を加工します。

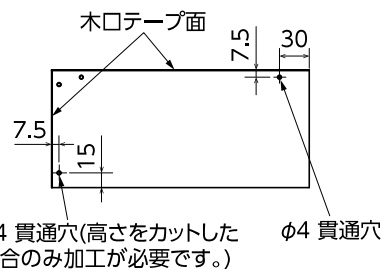
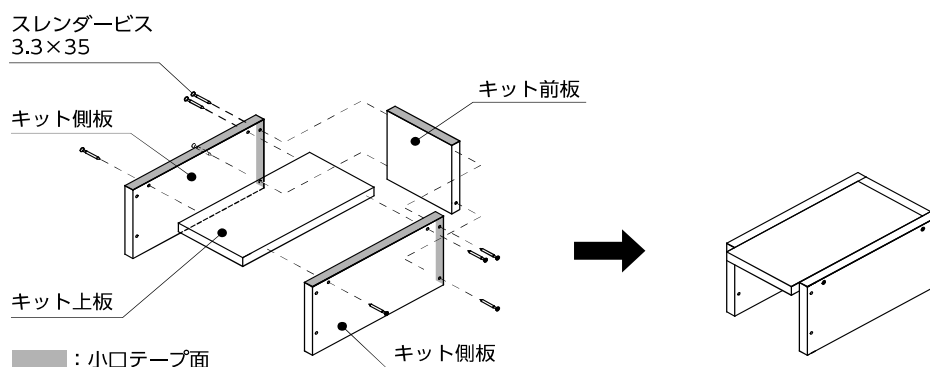


図6 キット側板の下穴加工位置

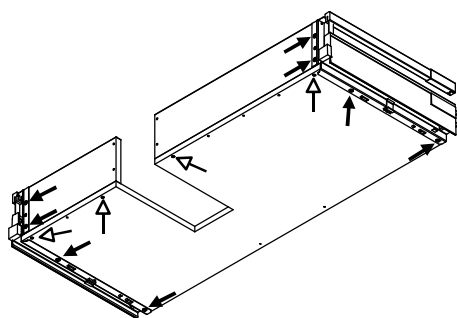
3 「キット前板、側板、上板」をネジ固定して「排水管対応キット」として組み上げます。

- *使用ネジ：スレンダービス 3.3×35 8本
- *「キット前板」は木口テープ面が上、切断面が下側になります
- *「キット側板」は木口テープ面が上&前面となります



組み付け

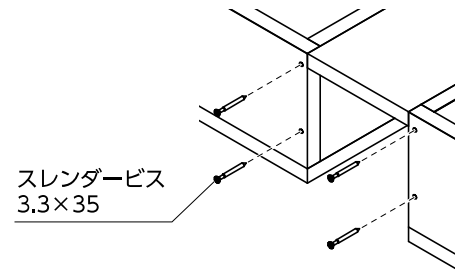
- ### 1
- 1項で加工した「引出し底板」「引出し背板」で引出しを組み立てます。「引出し底板」には「引出し背板」固定用に下穴があいています。この下穴と下記3項で取り付ける「コーナー金具」が干渉する場合は、1つ隣の下穴を使用して「引出し背板」を固定してください。
- ただし、切り欠きが引出しの端に近く、下穴が1つしかない場合、のネジ固定は不要です。



- ↑ : トラストッピン4×12 8本
*外したネジを使用。
- ↑ : スレンダービス3.3×35 4本
*内3本は外したネジを使用。

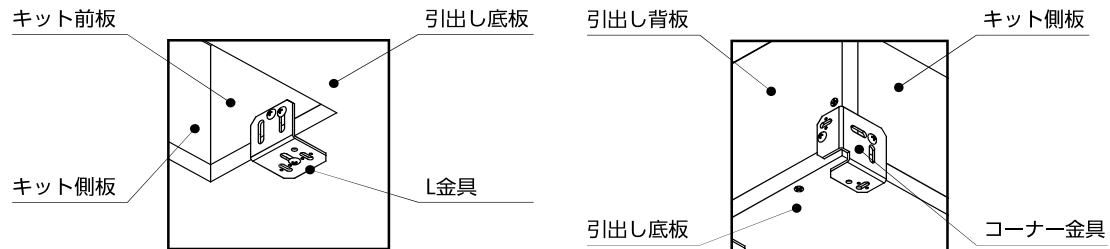
2 「引出し背板」と「排水管対応キット」を固定します。

*使用ネジ：スレンダービス 3.3×35 4本



3 以下参考画像に従って「排水管対応キット」を引出しに組み付けます。

*使用ネジ：トラスタッピンネジ 3.5×14 7本

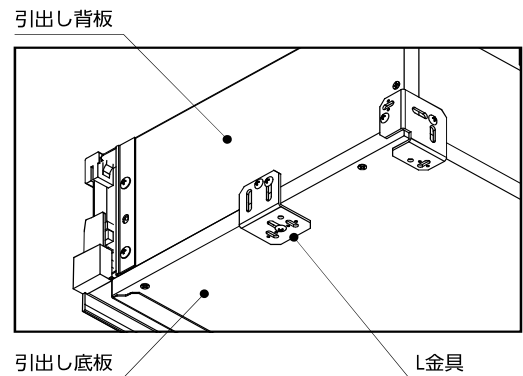


4 L金具で「引出し背板」と「引出し底板」を連結補強します。

L金具は、切り欠き両脇の中心に設置してください。

ただし、L金具が付けられないほど幅が狭い場合は取付不要です。

*使用ネジ：トラスタッピンネジ 3.5×14 6本



工事

排水管が引出しと干渉するため、市販のエルボーなどを利用して後方に排水管を取り回してください。
排水管の位置に合わせて、底板配管蓋と作業口蓋に、排水管が通る大きさの穴を加工してください。
排水管の位置によっては、直管接続するなどして、給水管などと干渉しないように配管してください。
記載内容以外については、『システムキッチンの設置説明書』を参照してください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号



ハイスイカタイキットセツセツ(HSK)-1